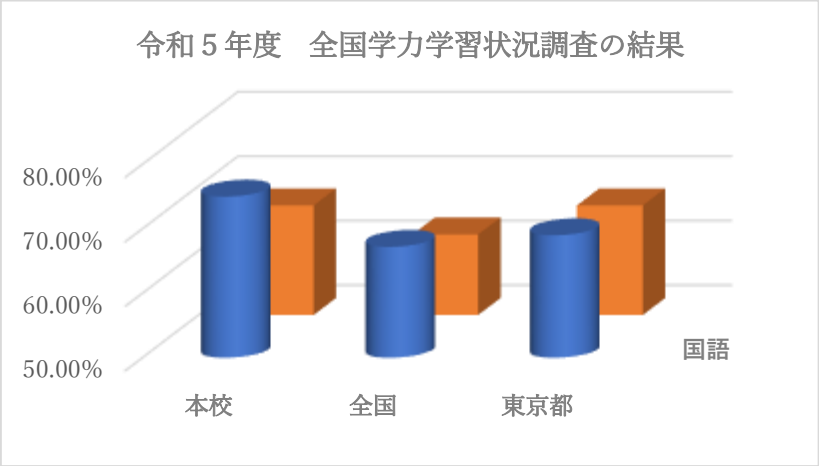
学校便り　　令和５年 10 月 31 日

中　神

昭島市立中神小学校
校長　松井　茂

学力を支える力

副校長　杉本　幸司



前面（円柱）：国語　　後面（四角柱）：算数

各教科の正答率

	国語	算数
本校	75.0%	67.5%
全国	67.2%	62.5%
東京都	69.0%	67.0%

今年度の結果で特徴的なのは、必ずしも教科全体の正答率が高くなくても、以下の正答率が低い問題に対し、確実に正答を果たしている児童が複数いることでした。

（国語）　問題点と解決方法について書かれた友達の意見を完成させる問題（全国平均正答率 26.7%）

（算数）　開いた図を正三角形にするために切る角度を決める問題（全国平均正答率 24.9%）

そういった児童がどのような学校生活を送っているか、児童質問紙の結果で追跡をしてみました。すると、以下のことが分かりました。

・「学級生活をより良くするために学級全体で話し合い、互いの良さを生かして解決方法を決めて」いて、「学級での話し合いを生かして、今、自分が努力することを取り組んでいる」と答えた児童の 70%が正答している。

・「読書を 30 分以上」行い、「読書が好き」で、「新聞をよく読む」と答えた児童の 80%が正答している。

また、そういう児童は、４年生から行っている「児童・生徒の学力向上を図るための調査」での以下の質問で、３年間を通して「とてもそう思う」「そう思う」と答えていることが分かりました。

・大切な言葉や公式は、意味を理解して覚えている。
・他の人の話を聞くときは、メモをとって理解するようにしている。
・他の人が書いた文章の良い点を取り入れて書くようにしている。

学習していることが何を意味するのかを考え、実のある学習の積み重ねを行うことによる学力向上の成果がうかがえる結果でした。日常の意味理解を大切に、着実に、真摯に学習に励む児童に敬意を抱きつつ、今後もそのような学習の積み重ねを児童が行うよう、指導していきます。